

【授業科目】医学概論

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
山口 央輝	1年次前期	必修	1	15	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	臨床検査技師を目指す者にとって、医学、医療の概要を学ぶ科目である。健康の概念から、医学の歴史、医学倫理、進歩する医療技術、先端医療、高齢化社会、緩和医療、チーム医療などの概要を学習し、医療人として基盤となるべき考え方、知識を身につけることを目標とする。また、多職種とともにチーム医療に参加し、他の医療専門職分野の知識も概説し、横断的な視点を持つ臨床検査技師としての在り方を学ぶ。学生は、毎回の授業内容に対する感想、意見をレポートとして提出し、最終回にはこれまでの授業内容に対する発表を行う。一般教養の倫理学、生命倫理学、および少子高齢化論との関連が深く、これらの科目もよく学習する必要がある。*実務経験を持つ教員が授業を進める。							
授業の位置づけ	・本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念、医学の歴史、医療倫理に関する概要を理解し、これらの内容について自分の考えを述べることができる。 移植医療・再生医療などの先端医療、高齢者医療・緩和医療など現代に求められる医療に関する概要を理解し、これらの内容について自分の考えを述べるができる。 チーム医療を中心としたこれからの臨床検査に関する概要を理解し、これについて自分の考えを述べることができる。 							
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<ul style="list-style-type: none"> 十分な授業時間が得られないため、各自で渡された資料をよく読んでおくこと。(30分) 新聞等をよく読み、医療に関する記事に関心をもつようにするべきである。 <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>							
授業計画	第1回 健康の概念 第2回 医学の歴史 第3回 医療と倫理 第4回 移植医療、再生医療、遺伝子治療 第5回 高齢者医療、緩和医療 第6回 チーム医療、在宅医療 第7回 これからの臨床検査 第8回 学生による発表						全て 山口	
評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 20% 講義ごとのレポート 20% 学生による発表 60% 学期末試験							
教科書	最新臨床検査学講座 臨床医学総論/臨床検査医学総論 (医歯薬出版株式会社) プリントを配付します。			参考書等		なし		
学生へのメッセージ	医学、医療の概要を学ぶ科目であり、これからの専門基礎科目および専門科目を履修する上での基盤となる。毎回の授業を真剣に聞き、自分の感想、意見をレポートとして提出し、自分の考え方を築くべきである。また、チーム医療の一員となるべき者としての心構えを持つ必要がある。							

